

## 「シェディング」の本来の意味

体内に入ったものは、**保持される**か、**排出 (shed)**されるか、のどちらかである。

**shed**: [不要なものを]捨てる、放出する、排出する、流し出す、落とす

**membrane protein shedding**: 膜タンパク質シェディング; 細胞の普遍的な活動の一つであり、膜に結合しているタンパク質が切り出される動作を指す。

**viral shedding**: 感染細胞からのウイルス粒子の排出を指す(下図のようなもの)。

**vaccine shedding**(ワクチン・シェディング): ワクチン排出; 個人がワクチンの成分を体内または体外に放出または排出することを指す。

・ **保持される**ものは、体外に出て行かないため、他者に直接的な影響を及ぼさない。

**保持される**ものを継続的に取り込んだ場合、それは体内に蓄積することになるが、この場合も体外に出て行かないため、他者に直接的な影響を及ぼさない。

・ **排出 (shed)**されるものは、遅かれ早かれ体外に出て行くため、**他者に直接的な被害を及ぼす可能性**がある。

① **有害物質**の場合、有害性が高ければ本人が生存できないため、体外への**排出 (shed)**は免れる。一方、有害性が低ければ本人は生存して**有害物質**が体外に**排出 (shed)**されていくが、多量ではないため他者への影響が有ったとしても軽微である。

② **病原ウイルス**の場合、ある種のもの体内で増殖して体外に出ていく(**排出 (shed)**される)ため、**他者に直接的な影響を及ぼす可能性**がある(その結果が、いわゆる「伝染病」である)。

③ 病原ウイルスを弱毒化して作った**生ワクチン(弱毒生ワクチン)**の場合、弱毒化してもウイルスとしての増殖機能を残している場合は、細胞内でウイルス粒子が複製され、それが細胞外へと**排出 (shed)**されていく場合がある。即ち、いわゆる「**vaccine shedding; ワクチン・シェディング**」の現象が見られる可能性がある。

④ それ以外のワクチン(不活化ワクチン、成分ワクチン、核酸(遺伝子)ワクチン)は、接種後にワクチン成分が**排出 (shed)**されたとしても、それは増殖性を持ったウイルス粒子ではないため、他者の粘膜や皮膚から組織内に潜り込むことは極めて難しい。また、配合された**有害物質**が排出された場合、結果は上記の通りである。

⑤ mRNAワクチン製剤を打った人の後ろを歩くことで直ぐに体に異変が生じる場合、それは「シェディング」ではなく、何らかの過敏症である。

(原図の出典: 城西国際大学)

